



- 永代共養墓について
- ぶつぐら雑記ブログ
- 真言宗について
- 金剛院イベント情報
- 金剛院 建築計画
- しいなまち・みとら
- 唱えてみよう!
- 仏教一年生
- 金剛院News
- メールを送る
- こんごういんキッズ!
- たいけんしてみよう!
- まんが小坊主くん!
- 金剛院について
- おすすめリンク集
- メディアで紹介
- 東京お寺めぐり
- ぶつぐらグッズ
- 金剛院の四季
- バックナンバー
- ほほほのれしび
- ふしぎな密教法具
- 地図・アクセス
- サイトマップ

 検索

エッセイ 仏教一年生

- 第37回 [「智の器」としてのお寺の面白さ](#)
- 第36回 [日食メガネと雨男](#)
- 第35回 [東日本大震災一周年に想うこと](#)
- 第34回 [インドマジックで被災地に笑顔を「2」](#)
- 第33回 [インドマジックで被災地に笑顔を「1」](#)
- 第31回 [井戸の話](#)
- 第30回 [五筆和尚伝説](#)
- 第29回 [縁の下をささえる人々](#)
- 第28回 [日本人、最高!](#)
- 第27回 [人間と占い](#)
- 第26回 [空海さんの謎](#)
- 第25回 [私の知らない私](#)
- 第24回 [記憶と感情](#)
- 第23回 [美人病にかかる\(後編\)](#)
- 第22回 [美人病にかかる\(前編\)](#)
- 第21回 [四億年の引きこもり](#)
- 第20回 [年齢を隠したがる人たち](#)
- 第19回 [若い時の苦労は買ってでもしろ](#)
- 第18回 [子離れの季節](#)
- 第17回 [35年目の同窓会](#)
- 第16回 [不老不死のお酒](#)
- 第15回 [アンチエイジング](#)
- 第14回 [女子力不足](#)
- 第13回 [仏のレッスン](#)
- 第12回 [母と子をつなぐ道](#)
- 第11回 [座敷わらし](#)
- 第10回 [夢のお告げ](#)
- 第9回 [犬に引かれて](#)
- 第8回 [生まれ変わり](#)
- 第7回 [お葬式の意味](#)
- 第6回 [不思議なご縁](#)
- 第5回 [生きるための勇気](#)
- 第4回 [祖母の形見](#)

仏教一年生

山田真美・著



作家、日印芸術研究所言語センター長の山田真美さんの連載です。

[プロフィール紹介](#)

第22回 美人病にかかる（前編）

BI 0 チェック いいね! 0 Tweet

あれは、今から2か月ほど前のある朝のことでした。目が覚めると同時に、眠気が一気に吹き飛ばすほどの強烈な痛みが左顎(あご)を襲ったのは。私はこわごわ顎をさすりながら、

(今の痛みは何? 親しらず? 虫歯? まさか顎がはずれたとか?)

と、あわてて鏡で顔をチェックしたのですが、外見上は変わったところもなく、また1分もしないうちに痛みはスーッと引いてしまいましたから、生まれつき忘れっぽい私は、じきにそのことを忘れてしまったのです。

ところがその翌朝、またしても同じ顎に激痛が。その翌朝も、そのまた翌朝も、眠りから覚めかけるまさにその瞬間をねらったように、左顎だけにひどい痛みが走るではありませんか。

さらに2~3日すると食事のときにも痛みが走るようになって、私の左顎は1日4回、つまり起床時と食事時には必ず痛むようになってしまったのです。しかも症状は日に日に悪化するばかり。

顎に負担のかかることなどしてはいないはずなのに、これはどうしたことでしよう。

特に奇妙なのは、その痛み方です。虫歯のように四六時中ズキズキ痛むのであれば、原因がハッキリしているという意味でまだ納得がゆくのですが、今回は何の前ぶれもなく、いきなり「ガクッ」という感じで痛くなり、30秒から1分ほど痛みの余韻がつづいたあとは、嘘のように痛さが引いてしまうのですから、何ともおかしな話です。

このままでは症状が悪くなる一方なので、歯医者さんを訪ね、くわしく診ていただきました。すると先生の第一声は、

「親しらずや虫歯ではありませんね。これは、いわゆる顎関節症です」

という耳慣れない言葉。


- [第3回 ありがとうの輪](#)
- [第2回 お釈迦さまのお顔](#)
- [第1回 算数と仏教](#)
- [仏教一年生 山田真美・著](#)

①×

東京大学と発見した新成分

ブロッコリーの希少成分ブロリコ。フコイダンの60倍の免疫活性効果を確認。今だけ資料を無料配布

brolico-research.jp



「がくかんせつしょう、ですか？」

「そうです。口を開閉するときに顎が痛い。口が開かない。硬い食べ物を嚙もうとすると顎が痛む。このような症状を総称して『顎関節症』と呼ぶんです。結構多いですよ、この症状でお悩みの患者さん」

似たような症状に悩んでいる人は結構多いという先生の言葉に、私は少しホッとしました。痛みの正体が何なのかサッパリわからず不安な思いをしていたときに比べれば、病名がわかった今は、具体的な問題解決に向けて少なくとも一歩前進したわけですから。さらに先生は、女性患者の心を思いきり嬉しくするようなことをおっしゃいました。

「顎関節症は、おもに20代から30代の若い女性に多くみられる症状で、別名を『美人病』というんですよ。歌手の森高千里さんや松浦亜弥さんもかかったことがありのようです。上顎より下顎の小さい、つまり顎のきゃしゃな方がかかりやすいので、こういう別名があるようです」

「美人病ですか！ へえー！」

「へえー！」と言いながら、私は内心、ちょっと嬉しくなっていました。だって、もしも同じ病気にかかるなら、「ブス病」よりは「美人病」と呼ばれる病気にかかったほうがマシに決まっています。「がくかんせつしょう」というゴツゴツした可愛げのない名前と呼ばれるよりは、「美人病」と呼ばれたほうが絶対に治りが速いような気もしました(少なくとも女性の場合は)。

それで思い出すのは、大学時代にジンマシンが出て病院へ行ったときのことです。医者から、「これはジベール薔薇色糞糠疹(じべーる・ばらいろ・ひこうしん)です」と、まるでベルサイユの薔薇のように華やかな病名を告げられたとたん、それまでひどく体調が悪かったのが、なんだか急に気分が良くなって、薬も飲まずにあつと言う間に治ってしまった経験があるのです。

私はかなり単純なところがあるので、ときには言葉の力だけで病気も治ってしまう。「病は気から」とは、まさにこのことですね。

「それで、美人病の原因は何なんですか」

と、さっきより明らかに元気になった私が尋ねると、先生は少し首をかしげ、

「それが、この病気の原因は特定できないんです。笑い方や歌い方が原因のこともあれば、頬杖のような生活習慣、あるいは寝違えたことが原因で美人病になることもあるし。心身のストレスも原因になりますよ。山田さん、指を縦に並べて口に入れてみてください。2本分、入りますか？」

先生に言われるがままに指を口に入れてみたところ、難なく2本入りました。それを見た歯医者さんは、

「ああ、そんなに大きく口を開くことができるんじゃ、大学病院ではとても治療してもらえませぬね。重症の患者さんたちは指1本分も口が開かなくて、ほとんど食事ができないんですから。山田さんの場合は、まだごく軽症です。どうか、これ以上症状が進まないようにしたいところですねえ……」

先生の、「もしかしてもしかすると、歯の噛み合わせが原因かも知れないので」という進言にしたがい、マウスピースを作ることになりました。マウスピースを口に入れて眠れば、寝ているうちに噛み合わせが是正され、ひよとしてひよとすると痛みが止まるかもしれないというわけです。

何だかちょっとバウチのような話だとは思いましたが、と言って、そのほかに決定的な治療法はないのですし、鎮痛剤は単なる対症療法にすぎず、本質的な解決にはなりません。

この痛みを「根本から」治す可能性があることは、すべて実行に移してみようと思い、私は出来上がってきたマウスピースを口に入れて、その晩から眠ろうとしてみました。

ところが、眠れないのです。異物が口に入っているため、イライラしてまったく落ち着かないのです。

普段なら横になって5秒で熟睡してしまうほど寝つきのいい私が、その晩は、あまりの寝苦しさに右を向いたり左を向いたり、起き上がったリまた転がったり、羊の数を100まで数えても眠れないので、また0から数え始めたり。

……それもこれも、すべてはマウスピースを口に入れたことで生じた「違和感」のせいでした。そういえば私は昔から、コンタクトレンズをはじめとする「異物」に対するカラダの拒否反応が人一倍強いのです。

さんざん寝返りを打った揚句、ついに耐えられなくなって、「もうやめた！」とマウスピースをはずしてしまいました。(次号につづく)

≪ 第21回 四億年の引きこもり 第23回 美人病にかかる(後編) ≫

山田 真美 (やまだ・まみ) プロフィール紹介

作家、日印芸術研究所言語センター長。密教学修士(高野山大学)。現在、お茶の水女子大学大学院博士課程後期在学中。1960年長野市生まれ。明治学院大学卒業後、ニュー・サウス・ウェールズ大学(豪)でマッコウクジラの回遊を研究。その後インド政府の招聘でヒンドゥー神話を調査研究。1996年より6年間ニューデリー在住。

主な著書にダライ・ラマ法王へのインタビューも収録した『死との対話』、ベストセラーとなった『ブースケとパンダの英語でスパイ大作戦』など。

訳書に第二次世界大戦の秘史を扱った『生きて虜囚の辱めを受けず』。

長年にわたりインドを日本に紹介してきた功績を認められ2007年、インド国立文学アカデミーより世界で3人目となるドクター・アーナンダ・クマラスワミ・フェローションを受け取る。

財団法人日印協会理事。日本文化デザインフォーラム、日本蜘蛛学会、宇宙作家クラブ会員。国立天文台広報普及委員会委員。

山田真美 公式ホームページ: <http://www.yamadamami.com/>



夫婦円満 5つのポイント、過去に

秘策を無料配布中、今すぐ読めます husbandguide.main.jp/夫婦改善/復縁へ進む





© 2002-2016
真言宗豊山派 金剛院

[永代供養墓 密厳霊塔](#)
[しいなまち みとら](#)
[こんごういんキッズ](#)
[メディアで紹介](#)

[ぶつぶつ雑記ブログ](#)
[唱えてみよう!](#)
[たいけんしてみよう!](#)
[東京お寺めぐり](#)
[ばばばのレシピ](#)

[真言宗について](#)
[仏教いちねんせい](#)
[まんが 小坊主くん!](#)
[ぶつ仏クイズ](#)
[ふしぎな密教法具](#)

[金剛院イベント情報](#)
[金剛院NewS](#)
[金剛院について](#)
[金剛院の四季](#)
[地図・アクセス](#)

[メールを送る](#)
[おすすめリンク集](#)
[バックナンバー](#)
[サイトマップ](#)

外壁塗装の適正価格は？

利用者の93%が【安くなった】と回答。あなたの街の適正価格／5秒でチェック！ [gaiheki.yeay.jp](#)へ進む

